

特別史跡

西都原古墳群

発掘調査・保存整備概要報告書（X X III）



2021. 3

宮崎県教育委員会

例 言

1. 本書は文化庁の援助を受け、宮崎県教育委員会が実施した「西都原古墳群史跡整備推進事業」の令和2年度事業概要報告書である。
2. 発掘調査は宮崎県教育委員会が事業主体となり、宮崎県立西都原考古博物館が実施した。
3. 発掘調査及び保存整備の実施地点は、下記のとおりである。
 - 西都原115号墳：宮崎県西都市大字8002番（発掘調査）
 - 第3支群滅失古墳群：宮崎県西都市大字8000・80001・8002番（発掘調査）
 - 酒元ノ上横穴墓群：宮崎県西都市大字三宅字酒元ノ上4807番（保存整備）
4. 本書の執筆・編集は、宮崎県立西都原考古博物館学芸普及担当主事 留野優兵が担当した。
5. 発掘調査で出土した遺物は、同博物館にて保管している。

目 次

第Ⅰ章 発掘調査及び整備の経緯	1
第1節 既往の整備事業	
第2節 西都原古墳群史跡整備推進事業	
第Ⅱ章 2020(令和2)年度の発掘調査	3
第1節 西都原115号墳の発掘調査	
第2節 第3支群滅失古墳群の発掘調査	
第Ⅲ章 保存整備	3

第 I 章 発掘調査及び整備の経緯

第 1 節 既往の整備事業

西都原古墳群は、1912（大正元）年から1917（同6）年にかけて、我が国最初の古墳の学術的・組織的調査が実施された後、1934（昭和9）年8月1日に国の史跡に、1962（昭和27）年3月29日には特別史跡に指定された。後の追加指定を経て、現在の指定面積は約58万㎡に及んでいる。そして、1966（昭和41）年から1969（同44）年まで、最初の『風土記の丘』として整備事業が行われ、以後、史跡公園としての環境維持や古墳の保護が図られてきた。

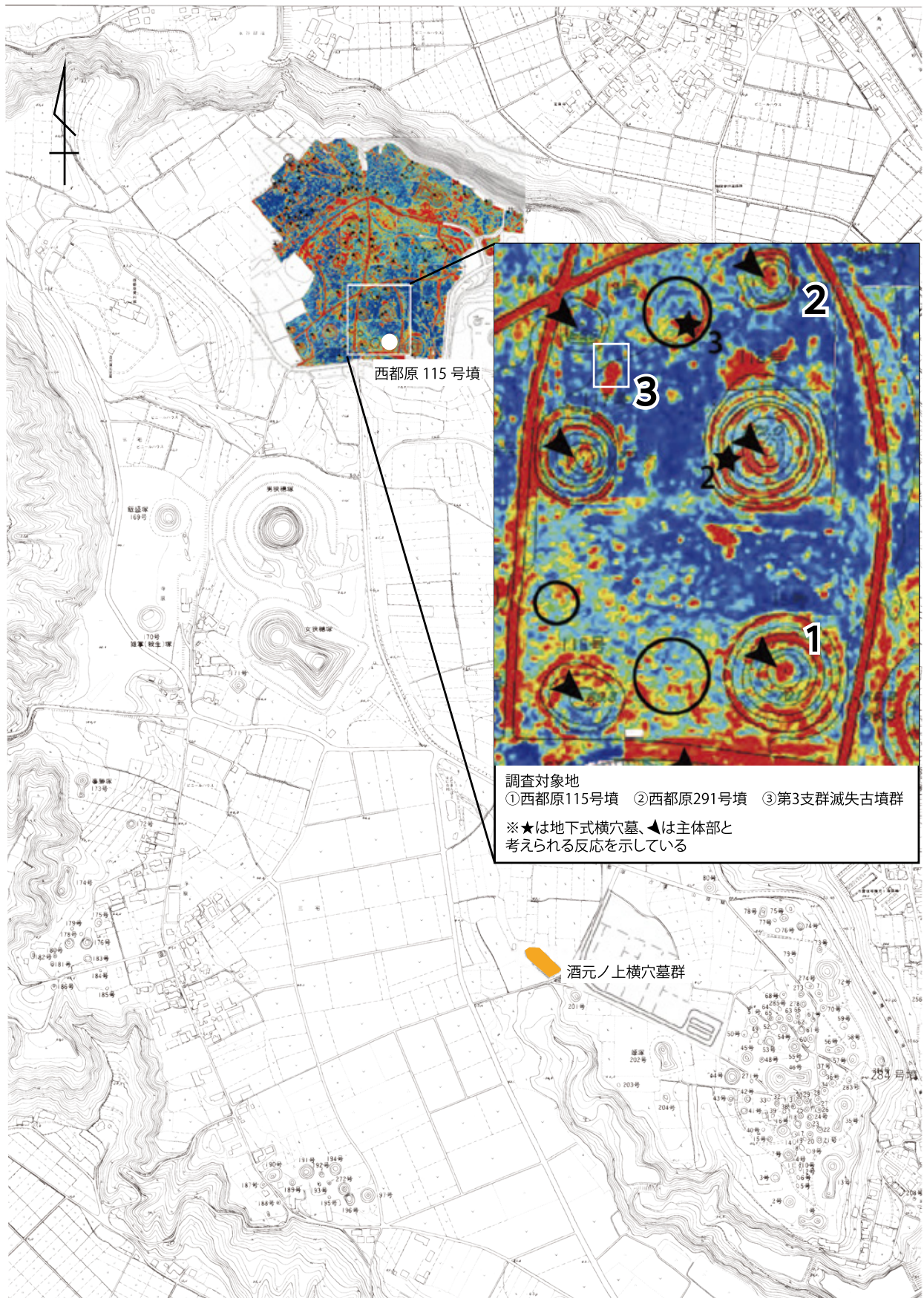
その状況を踏まえ、宮崎県教育委員会では「史跡の保護」に加えて「活用」という観点から1993・1994（平成5・6）年度に「西都原古墳群保存整備検討委員会」を設置し、1994年度末に『西都原古墳群保存整備基本計画』をまとめ、それに基づき1996（同7）年度より新たな整備事業に着手している。1995（平成7）年度から2002（同14）年度にかけては文化庁の補助事業である「大規模遺跡総合整備事業」（1997（同9）年度より「地方拠点史跡等総合整備事業」）を活用し、発掘調査の成果を基にした古墳の復元整備工事や環境整備、見学施設の建設、土地公有化などが行われた。その後、2003（平成15）年度から2007（同19）年度には「西都原古墳群歴史ロマン再生空間形成事業」の事業名で、46号墳の発掘調査や111号墳の墳丘復元工事などを実施し、2008（同20）年から2013（同25）年度には「西都原古墳群活用促進ゾーン整備事業」の事業名で、46・47・201・202・284号墳の発掘調査や、46・47・202号墳の墳丘復元工事などを実施した。2014（同26）年度から2018（同30）年度には「西都原古墳群調査整備活性化事業」の事業名で、101・265・陵墓参考地周辺・第1支群横穴墓群の発掘調査や100・171・206号墳の再整備などを実施した。

第 2 節 西都原古墳群史跡整備推進事業

宮崎県教育委員会では、2018（平成30）年度に前述の『西都原古墳群保存整備基本計画』の事業名を上位計画と位置付けた上で、新たな整備実施計画を策定し、2019（令和元）年度より標記事業に着手している。

当該事業は、発掘調査及び整備保存の継続によって西都原古墳群の基礎的理解を深め、その価値を具現化することを目指し、それにより古墳群に対する県民の広い理解を形成し、史跡の保存と継承を実現するために、発掘調査や調査終了古墳の整備保存、見学施設の再整備などを計画している。事業開始年である2019（令和元）年度には、第1支群横穴墓群および西都原115号墳の発掘調査、101号墳墳丘周辺の環境整備を実施した

2020（令和2）年度は、前年度から引き続いて西都原115号墳、および地中レーダー探査の調査結果と実際の遺構の状況を比較するために西都原古墳群第3支群の滅失古墳群（291号墳および2020年度調査地点）の発掘調査を実施するとともに、酒元ノ上横穴墓群の養生工事を行った（第1図）。



第1図 発掘調査・復元整備古墳の位置

第Ⅱ章 2020（令和2）年度の発掘調査

第1節 西都原115号墳の発掘調査

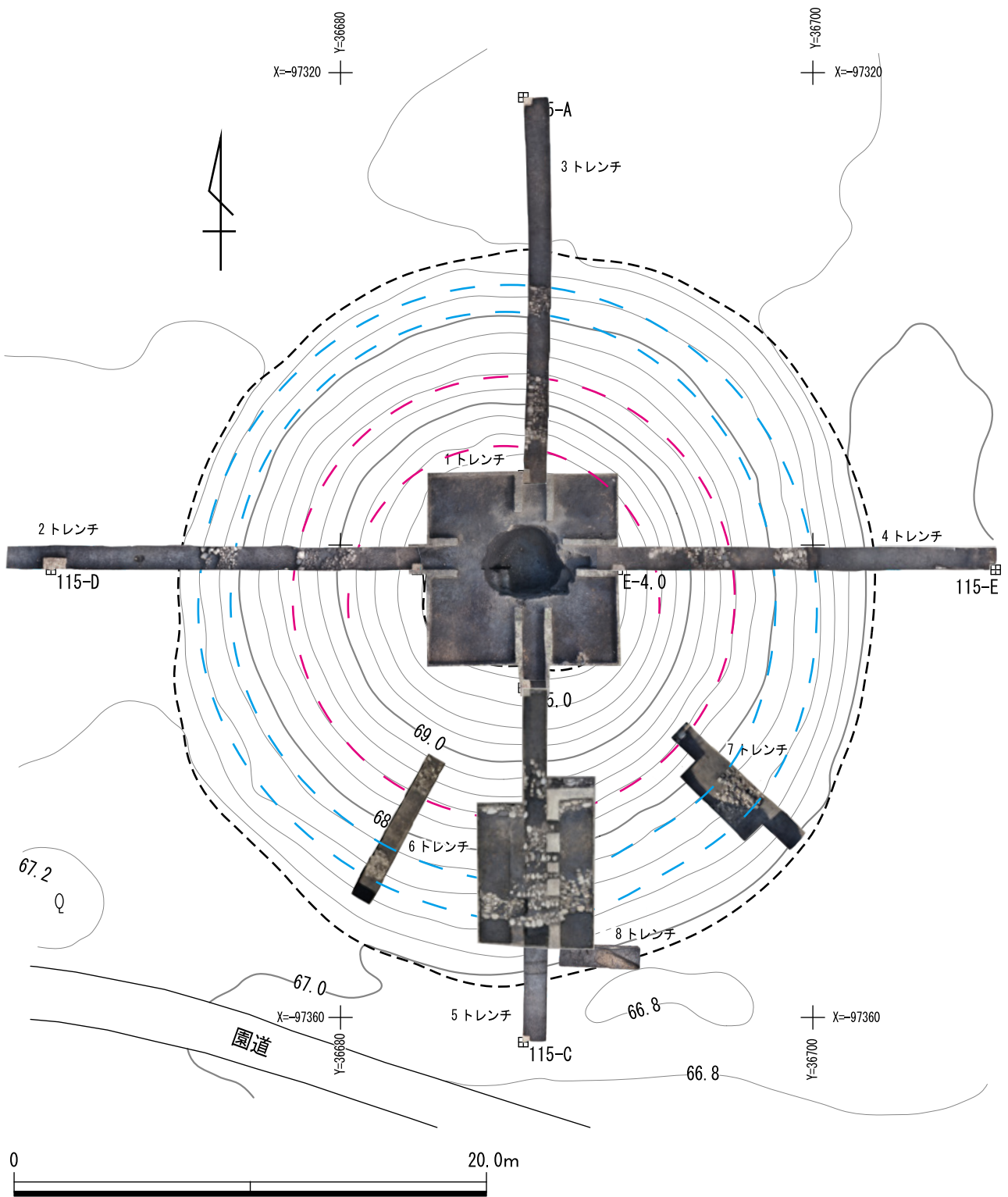
西都原115号墳は、第3-A群の南東部、4号地下式横穴墓を有する西都原111号墳の西側に位置する円墳である。1913（大正2）年の第2次調査および2019（令和元）年度に発掘調査を行っている。2019年度の発掘調査では、大正調査の再検証と墳丘構造の解明を目的に調査を行った。2020（令和2）年度の発掘調査は、前年に引き続き墳丘構造の解明を目的とし、墳丘南側の5トレンチを拡張して調査を行った。結果、115号墳墳丘南側では古墳築造時の葺石（葺石A）とは別の時期に作られた葺石（葺石B）を確認した。葺石Bは葺石Aを掘削・除去した後の埋め戻しと共に作られており、115号墳の調査・整備歴から鳥居龍藏による大正調査の埋め戻し、または風土記の丘整備に伴って施工されたものであると考えられる。

第2節 第3支群滅失古墳群の発掘調査

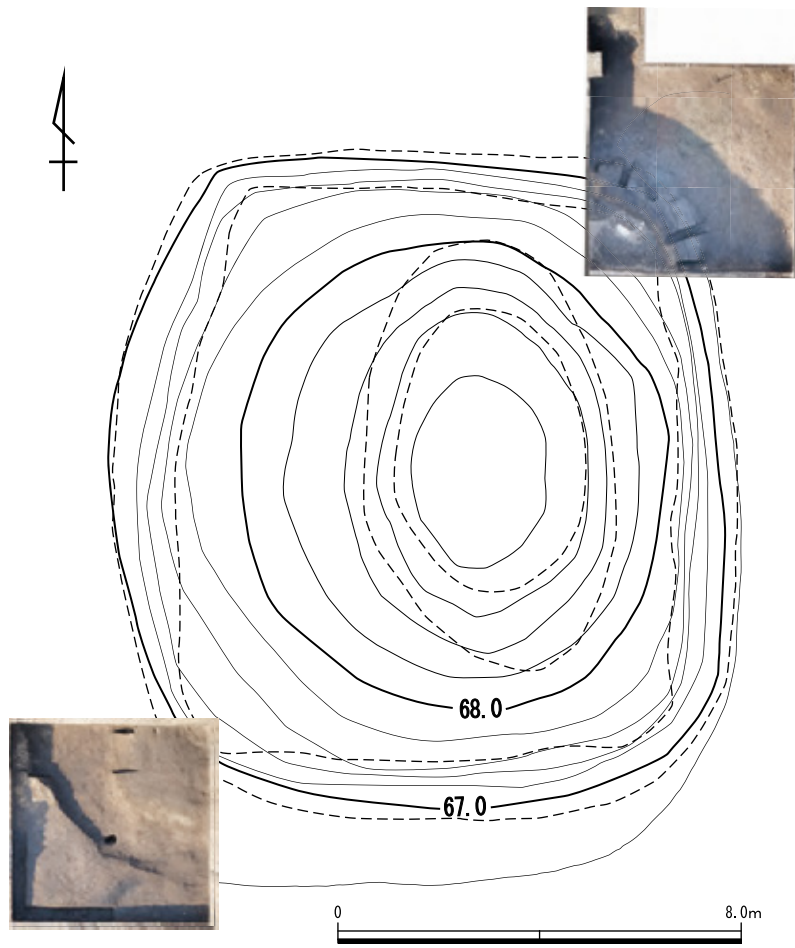
西都原古墳群の北に位置する第3支群では、墳丘を失った古墳や地下式横穴墓の有無を確認することを目的として地中レーダー探査を行ってきた。2020（令和2）年度は、この探査で確認した反応と実際の地下の遺構の状況を比較するため、第3支群滅失古墳群として291号墳および地下式横穴墓と考えられる反応が得られた個所（以下2020年度調査地点）を対象とした発掘調査を実施した。西都原291号墳は、第3-A群・西都原118号墳の北東側に位置しており、2009（平成19）年度に実施した地中レーダー探査の結果、方墳である可能性が考えられることから、墳形確認のために調査を行った。地中レーダー探査で葺石と考えられる強い反応がみられた墳丘北東端・南西端に調査トレンチを設定した結果、葺石が確認できず、後世の切り崩し等で墳形の変容が激しいことから墳形を確定することができなかった。次年度以降に、主軸方向にトレンチを設定して再度確認を行う予定である。第3支群滅失古墳群における2020年度調査地点では、地下式横穴墓と考えられる反応が地中レーダー探査で得られたことから2011（平成21）年度に光ファイバーカメラを挿入し、内部の確認と映像記録を目的とした調査を実施したが、空洞に到達しなかった。今年度の調査では、反応を面的に確認するため南北10m、東西5mの調査区を設定し、検出作業を行い南北7m・東西3mのプランを確認した。遺構の一部を掘削したところ、遺構は隅丸長方形を呈し、地山層から深さ1.4mまで掘りこまれていた。土層断面の観察から埋土は1度の埋め戻しで堆積したもので、土中から合成肥料の包装用ビニルが出土した。また、地下式横穴墓の天井が崩落した痕跡や堅坑等は確認できず、この地点での反応は地下式横穴墓によるものではないことが確認できた。

第Ⅲ章 保存整備

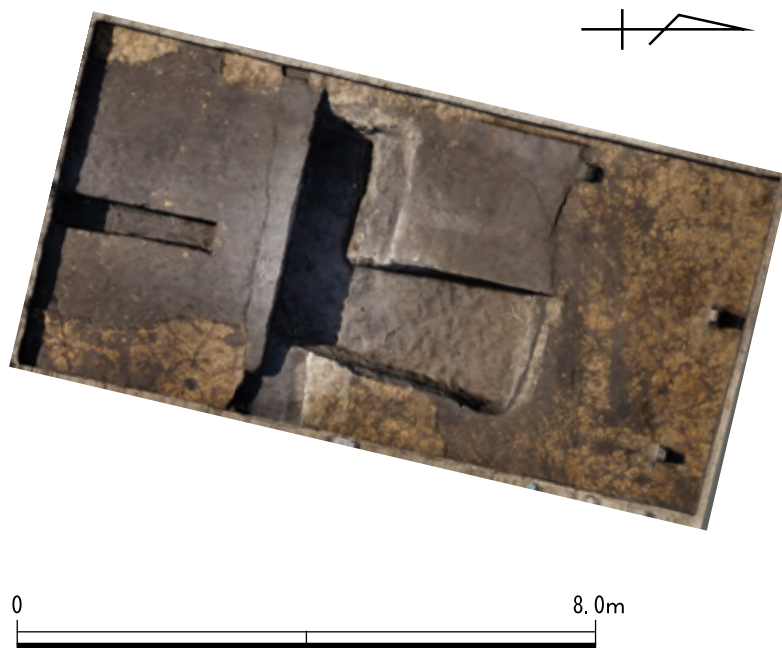
酒元ノ上横穴墓群については1996～1998（平成8～10）年度に発掘調査を行い、1999（平成11）年度に遺構保存覆屋見学施設を整備し、遺構の保存と活用を行ってきたが、覆屋の建設から20年近くが経過し、施設各所、特に屋根部材の劣化・損傷が著しく、一部の部材が崩落するなどの事態が起こっている。落下部材による遺構き損の恐れがあるほか、見学者の安全が十分に確保できない状況であり、覆屋の構造も含めた再整備を検討する必要があるが、特に緊急を要する対策として、落下部材による遺構き損を防止するため、覆屋内に保存されている横穴墓6基について、開口している玄室4箇所を発泡ウレタンと土嚢で充填し、墓道には土木シートと土嚢による養生を施した。



第2図 西都原 115 号墳調査区配置図 (S= 1/250)



第3図 西都原 291号墳調査区配置図 (S= 1/150)



第4図 第3支群滅失古墳群 2020年度調査地点 オルソ画像 (S=1/100)



1 西都原 115 号墳
5 トレンチ全景 (南から)



2 西都原 115 号墳
5 トレンチ葺石B部分 (南から)



3 西都原 115 号墳
5 トレンチ葺石A西側 (南から)

- 4 西都原 115 号墳
5 トレンチ葺石A東側（南
から）



- 5 西都原 291 号墳
1 トレンチ全景（北から）



- 6 西都原 291 号墳
2 トレンチ全景（南から）





7 第3支群滅失古墳群
2020年度調査地点全景（南
から）



8 第3支群滅失古墳群
2020年度調査地点土層（北
から）



9 酒元ノ上横穴墓群
養生工事状況（北東から）

報告書抄録

ふりがな	とくべつしせき さいとぼるこふんぐん はくつちょうさ・ほぞんせいびがいようほうこくしよ							
書名	特別史跡 西都原古墳群 発掘調査・保存整備概要報告書							
副書名								
巻次	X X III							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	留野 優兵							
発行機関	宮崎県教育委員会（宮崎県立西都原考古博物館）							
所在地	〒880-8502 宮崎県宮崎市橋通東1丁目9番10号 (〒881-0005 宮崎県西都市大字三宅字西都原西5670)							
発行年月日	2021（令和3）年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
さいとぼる115号墳 西都原115号墳	さいとしおおあざみやけ4802ばんち 西都市大字三宅4802番地	45208				2020.11.17 ～2021.3.10	35.56㎡	史跡整備関連
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	古墳	古墳	葺石	須恵器		二段築成の墳丘に葺石を持つ構造が確認できた。		
だい3しぐんめつしつこふんぐん(291号墳) 第3支群滅失古墳群(291号墳・2020年度調査地点)	さいとしおおあざみやけ4800～4802ばんち 西都市大字三宅4800～4802番地	45208				2020.11.17 ～2021.3.10	87㎡	史跡整備関連
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	古墳	古墳・現代	周溝(291号墳)	須恵器・土師器・石器ほか				

特別史跡 西都原古墳群 発掘調査・保存整備概要報告書（X X III）

2021年3月31日

発行 宮崎県教育委員会（宮崎県立西都原考古博物館）

〒880-8502 宮崎県宮崎市橋通東1丁目9番10号

(〒881-0005 宮崎県西都市大字三宅字西都原西5670)

印刷 藤屋印刷株式会社

〒883-0045 宮崎県日向市本町6-5

TEL 0982(52)7171 FAX 0982(56)1208

